

# 森のおくりもの12月



ルリビタキ（ツグミ科）



写真：佐藤博美さん（宮城野区）

森は本格的な冬の装いとなっております。しかし、真冬でも楽しんでいただけるのが太白山自然観察の森です。その一つとして、12月から来年3月末まで、自然観察センターの部屋の中からたくさんの野鳥がご覧いただける「小鳥のレストラン（バードテーブル）」を設置しております。この機会にご来館いただきぜひ楽しんでいただけますようお願いしております。（館長 菊池正行）

好奇心旺盛な

シジュウカラ (四十雀)

先月中頃から、事務所の窓辺にシジュウカラがやってくるようになりました。きっと、「エサ台はまだか」と言いに来ていたのでしょう。そんなことで、今回は、シジュウカラの紹介です。

エサ台では、もっぱらひまわりの種専門ですが、森の中では、地面の落ち葉などをめくって虫などの餌探しをしている姿が見られます。センターの壁に作ったチョウの蛹を見つけるのも早かったです。雑食性で虫も種も食べます。

来月になるともう、ツピーツツピーとさえずり始めるかもしれません。シジュウカラの縄張り争いはさえずりだけではありません。嘴を上の方に向けて、胸を張り、お腹の黒い線をめだたせ頭を左右に動かし、ほおの白い部分

も目立たせます。にらみ合い?でしょうか。追いかけっこや空中での蹴りあい(?)は見たことがありますが、このにらみ合い、一度見てみたい。

巣の場所は、センター近くでは、ガードレールの裏や、石垣の隙間、ブロックの間や換気扇のフードなど、過去にいろいろな所で見られました。来年はどこで巣作りするのでしょうか?を見つけるのも楽しみです。

- 巣作りも抱卵もメスだけです。
- エサ運び、ヒナのウンチ捨てはオスもメスも協力して子育てするよ。



似たもの同士 モノトントリオ  
なんだか似ているけれど、どこが違う?

背中黄緑色のスカーフが光に当たると鮮やかでとてもきれい!

頭にベレー帽のどに蝶ネクタイ

寝ぐせのような頭の羽

胸に黒いネクタイ 太いとオス 細いとメス

胸には黒いスタイ

シジュウカラ

ヨガラ

ヒガラ

【レンジャー：黒川周子】

\* さえずり・・・縄張り宣言とメスにアピールする歌声のこと。さえずる場所をソングポストといいます。



# 12月の生物ごよみ



## 観察の森周辺でみることができる野鳥たち①

12月からはセンター裏で野鳥の餌台を設置致します。そこでこの季節に森で見ることができる野鳥たちを今月からシリーズでまとめてみます。

名前	大きさ / 季節	特徴	出会い度
 ヤマガラ	14cm/ 留鳥	オレンジ色のお腹が特徴。昔、おみくじを引かせる曲芸をしていたこともあり、人によくなれる。餌台にもよくやってくる。	S
 ミヤマホオジロ	16cm/ 冬鳥	オスは顔の黒と黄色の模様が目立つ。冠羽が逆立っているのも特徴。センター周辺の明るい林や過去には餌台にも現れたこともある。	D
 ルリビタキ	14cm/ 漂鳥	オスの綺麗な瑠璃（ルリ）色の羽になるには3年ほどかかる。メスの羽はオリーブ色で腰から尾にかけてはブルー。	C
 カケス	33cm/ 漂鳥 留鳥	こうみえてもカラスの仲間。鳴き声は『ゲエーッ、ゲエーッ』と濁った声で鳴く。ドングリが大好き。餌台にもたまにやってくる。	A
 ベニマシコ	15cm/ 漂鳥	紅色なのはオスだけで、メスは淡い茶色をしている。「フィッ、フィッ」と鳴き、数羽の群れで行動する。センター周辺の草原で見られる。	C
 カシラダカ	15cm/ 冬鳥	頭の冠羽が逆立っているのが特徴。雄雌同色で、夏羽のオスは顔が黒くなるがメスは一年中変わらない。	C
 エナガ	14cm/ 留鳥	尾が柄杓のように長いのが特徴。群れで森の中を移動しながら昆虫や植物の実を食べて生活をする。	B

【レンジャー：齋 正宏】

※冬鳥 越冬のために日本より北の国から渡ってきて、冬を日本で過ごし、冬が終わると再び繁殖のために北の国に渡って行く鳥。

※留鳥 年間を通して同じ場所に生息し、季節による移動をしないもの。

※漂鳥 暑さや寒さを避けるため夏は山地、冬は平地というように繁殖地と越冬地を区別して日本国内を季節移動する鳥。

※出会い度 高いS→A→B→C→D低い

このコーナーでは、森の中で見つけたかわいいものや不思議なものなど、ちょっと気になるあれこれを取り上げていきたいと思ひます。

## はっけんメモ その7

### 『～落ち葉から考える～ 森とくらしのかかわり』



森の木々が葉っぱを落とし、地面はふかふかの落ち葉でいっぱいになりました。落ち葉の上をサクサク音を立てて歩くのは楽しいですね。今回はそんな落ち葉から森について考えてみたいと思ひます。

森の中にあるさまざまな生物は、燃料、生活用品の材料、塗料や染料などとして人々の暮らしを支えてきました。特に畑の堆肥として落ち葉を利用する場合は、畑の面積と同じ面積の雑木林が必要とされ、「一反の畑に一反のヤマ」  
一反≒10アール（約100平方メートル）  
 といわれてきたそうです。よい土をつくり、よい作物をつくるため、森からの

恵みは欠かせないものでした。

森の資源を活用しはじめた時代は古く、縄文時代にさかのぼります。それから一般家庭にガスや電気等のエネルギーが供給されるまで森の資源利用は続きました。森の自然にたくさんの生き物があふれているのは、里に暮らす人がその自然の恵みを適切に利用し、管理してきたか  
（近年、人と関わりの強い森を「里山」と呼んでいます。）

現在の生活では里山の恵みを



利用する必要はありません。そのため多くの里山は木々や下草の生い茂る暗い森になってきました。里山の手入れがされなくなって、数の減ってしまった生物は多く、早春に花を咲かせるカタクリやシュンランなどもその一つ。

かつて早春の里山を彩っていた身近な植物の営みにも、落ち葉かきや下草刈りなどの人の暮らしと里山の密接な関係が隠れているようです。

里山に暮らす生物がいなくなってしまうまいよう、現代に生きる私たちには何ができるのか考え、行動してゆきたいですね。

【レンジャー：河合 遥】



## 新人レンジャーの巡回日記



自然観察の森の晩秋をにぎやかに彩ってくれた紅葉も、ほとんどが葉を落とし、朝には観察センター前の広場にも初霜が降りるようになり、いよいよ冬の訪れが感じられるような季節になってきました。肌寒さを感じる最近の巡回中にも、冬の訪れを感じさせるものに出会うことができました。今回は、それについてご紹介します。



雪虫



白くて

ふわふわ飛んでいます

今の季節は、観察の森のどの道を歩いても、白くてふわふわと上下に飛んでいるものによく出会います。皆さんも見たり聞いたりしたことがあるのではないのでしょうか。そうです、雪虫なんです。私も雪虫を見かけたことはありますが、この虫が、アブラムシの仲間、代表的なのが、トドノネオオワタムシやリンゴワタムシという名前だということは、初めて知りました。雪虫は、寒くなって（11～12月頃）初雪が降る頃から見られるということや、飛んでいる姿が、雪が舞っているように見えることから名付けられているそうです。雪虫は熱い物に弱く、人の体温に触れたりしても弱ってしまうそうです。すぐに溶ける雪に、その辺りも似ていますよね。



### イベントの報告

11月22日（土）に「晩秋の蕃山ハイキング」のイベントが行われました。当日は、汗ばむ程の陽気の中、木々の紅葉が残る晩秋の蕃山の景色を楽しみながら気持ちよく歩くことができました。講師の親川氏には、道中立ち止まって、仙台地区の原風景の歴史と里山についてや、林業の側から見た樹木の管理と価値等の説明をしていただき、参加者の皆さんも自然への興味、関心を持ちながら歩くことができました。※イベントによっては、申し込みが必要なことがありますので、詳しくは、「イベントのお知らせ」でご確認下さい。



【レンジャー：鷺 千尋】

# 12月のイベント&お知らせ

## ◆「おはよう野鳥かんさつ」

・講師の案内で、冬の森に暮らす野鳥の声と姿を探しませんか？

【日 時】12月13日(土) 7:00~8:30

【定 員】なし

【持ち物】歩きやすく、暖かい服装

【申込み】不要(直接センター前へお越し下さい。)



## ◆12月から小鳥のレストランをひらきます！

・12月2日(火)よりバードフィーダーを設置します。  
あたたかい部屋の中からゆっくり野鳥観察しませんか？

## ◆12月から3月まで冬季のガイドウォークは午前1回です。

・冬季(12月から3月まで)は午前10:00~11:30のみの開催となります。  
お間違いのないようお越し下さい。

## ◆年末年始の休館日

・観察センターは12月28日(日)~翌年1月5日(月)まで休館です。  
12月23日(祝・火)は開館しています。

毎週  
日曜は

『ガイドウォーク』の日！

12月の開催日は  
7日、14日、21日です。

開催時間:午前 10:00~11:30

申し込み不要。時間までセンター前にお集まり下さい。



表紙の絵や  
原稿を募集  
しています。

里山や自然に関するものを  
描いて(書いて)ね!  
レンジャーからのプレゼント  
があるよ!!

イベント申込用



12月の休館日

1日、8日、15日  
22日、年末年始  
28日から1月5日

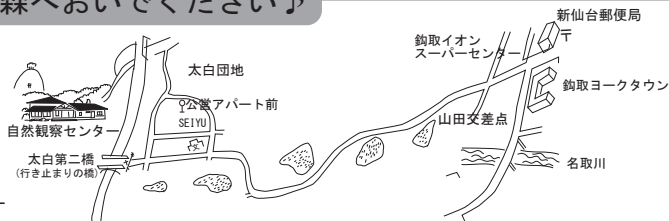
♪森へおいでください♪

### 宮城交通バスの場合

仙台駅前バスプール7番 または 長町駅から  
山田自由ヶ丘車庫 行きに乗り  
公営アパート前 で下車、徒歩15分でセンター

### お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。  
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター



スタッフBLOG開始しました!  
自然観察の森の最新情報、「森のおくりもの」  
バックナンバーはWebでチェック!

2014年12月号(毎月1回5日発行)  
発行:(公財)仙台市公園緑地協会  
編集:仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター  
〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63  
Tel: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133  
E-mail: taihakan\_moushikomi@sendai-green-association.jp

「社のひろば」URL: <http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakan/index.html>